

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターで診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 脳卒中患者における SGLT2 阻害薬の処方実態調査

研究の目的

糖尿病治療薬である SGLT2 阻害薬は血糖降下作用の他に脳梗塞のリスク因子である心不全の悪化や腎保護作用による腎機能障害の進展を抑制することが認められています。

しかしながら、SGLT2 阻害薬は脱水の副作用から脳卒中や急性腎障害を引き起こす可能性があり、脳卒中治療ガイドライン 2021〔改訂 2023〕における 2 型糖尿病の薬物管理における SGLT-2 阻害薬の推奨度は中等度に留まっています。

このような背景のもと、SGLT2 阻害薬が心不全や腎機能障害に与える影響についての研究は多数報告されていますが、脳卒中患者への処方実態に関する報告は少ないです。

このため、本研究の目的は当院の脳卒中患者における糖尿病、慢性腎臓病、慢性心不全の治療を目的とした SGLT2 阻害薬の処方実態を明らかにすることです。

研究実施期間： 令和 2 年 11 月 1 日 ～令和 11 年 3 月 31 日

(倫理審査委員会承認日)

対象となる方： 令和 2 年 11 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日までの間、当院を受診し、SGLT2 阻害薬（エンパグリフロジン、ダパグリフロジン）が投与されていた方。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、SGLT2 阻害薬を使用した患者さんの処方実態について、標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	研究代表者
	所属：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 薬剤室 氏名：斎藤 紅奈 電話：0172-28-8220